

～明るく元気なまちづくり～

会津若松市 区長会会報

2025年(令和7年)2月1日 No.89



令和6年9月22日

会津まつり「会津藩公行列」に玄武隊として参加

目次

会長あいさつ	P 2
令和6年度 事業内容・計画	P 2
令和6年度 収入支出予算	P 2
表彰	P 3
部会紹介	P 4～5

各地区の活動紹介	P 6～10
役員紹介	P10
編集後記	P10
区長会会報第89号編集者	P10



会長あいさつ

会津若松市区長会

会長 成田 源一郎

・令和6年度定時総会において15代会長に選任され、早9カ月が経ち、本会に対する市民の皆様方の信頼と期待の大きさに職責の重さを痛感しております。さて、昨年は元日早々、能登半島を中心とする震度7の大地震、更に9月には輪島市・珠洲市を中心とする大雨による甚大な被害が起こり、犠牲になられた方や災害にあわれた方々へ心からお見舞いを申し上げます。

このように、「大雨被害」や「南海トラフ大地震」を思わせるかの「宮崎沖地震」。更に、台風による被害など災害が頻発しており、会津地域にもいつ災害が起きるか分かりません。約400年前には大地震が起き犠牲者が数千人ともいわれています。

このような時こそ、町内会活動が大切な役目となります。「自助」「共助」「公助」一番大事なのは「自助」です。まずは自身の身を守る、そして町内会の大事な役目である「共助」です。「向こう三軒両隣」の基本精神で助け合うことや、健全な町内会活動によって「減災」はできると思います。

本年度は、「新任区長研修会」にはじまり、「先進都市視察研修会」においては防災先進地として仙台市と白石市を訪問し、地域防災の大切さを学び、10月には「市長との対話集会」、11月には「全市区長研修会」を開催したところです。

また「佐野市町会長連合会」が視察でお見えになり意見交換を行いました。佐野市と会津若松市はほぼ同等の規模で参考になるものが満載でありました。中でも町内会加入率が82.3%と課題とのことであり、それに対し本市は91.3%と先輩方の努力の結果だと感謝しております。

これらの功績を引き継ぎ、更に発展させることが、今私たちに課せられた責務だと考えています。

結びに、本会では、「安心」「安全」な市民生活を目指し、市民と行政のパイプ役として活動を進めてまいりますので、今後とも、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、第89号会報発行の挨拶とさせていただきます。

令和6年度 事業内容・計画

実施月日	事業名
4月～5月	各地区清掃事業（各町内会による）
4月2日	会計監査
4月5日	役員会
4月6日	クリーン鶴ヶ城作戦参加
4月17日	選考委員会
4月30日	定時総会・区長委嘱状交付式
5月8日	正・副会長会議
5月10日	地区会長会議
5月24日	役員・各都委員委嘱状交付式、各都部会
6月15日	新任区長研修会
7月1日	教養部会
7月3日	栃木県佐野市町会長連合会視察受入
7月11日	総務部会、厚生部会
7月12日	産業部会
7月15～16日	先進都市視察研修
7月31日	役員会
8月29日	役員会
9月22日	会津まつり 会津藩公行列参加
10月7日	中間会計監査及び次年度予算編成に係る打合せ
10月12日	環境フェスタ（チャリティーバザー）参加
10月24日	市長との対話集会
11月7日	産業部会研修会
11月15日	全市区長研修会
11月26日	役員会及び次年度予算編成に係る打合せ
12月17日	総務部会
1月6日	新年市民交歓会参加
1月24日	役員会、役員・各都委員新年会
2月1日	会報第89号発行
2月	各都部会（総務・教養・厚生・産業）
2月	会津若松市における町内会への加入促進にかかる懇談
3月	役員会

令和6年度 収入支出予算

収入の部					(単位:円)
項目	本年度 当初予算額	前年度 予算額	比較増減	説明	
1. 会費	2,012,000	2,028,000	△ 16,000	4,000円×503町内会=2,012,000円	
2. 市補助金	10,307,000	6,503,000	3,804,000		
3. 諸収入	971,000	975,000	△ 4,000		
(1)協力金	503,000	507,000	△ 4,000	社会福祉協議会より	
(2)預金利子	1,000	1,000	0		
(3)保険料	450,000	450,000	0	町内会活動保険料(各町内会負担分)	
(4)その他の収入	17,000	17,000	0	区長バッジ等	
4. 繰越金	1,791,393	1,478,741	312,652	前年度繰越金	
収入合計	15,081,393	10,984,741	4,096,652		

支出の部					(単位:円)
項目	本年度 当初予算額	前年度 予算額	比較増減	説明	
1. 事業費	14,251,393	10,176,741	4,074,652		
(1)総会費	281,000	345,000	△ 64,000	総会案内等送付代 他	
(2)会議費	318,000	313,000	5,000	役員・各都委員委嘱状交付式会場費 他	
(3)生活環境整備費	6,608,000	3,435,000	3,173,000	麻袋購入費、配布手数料 他	
(4)研修費	1,817,000	857,000	960,000	新任区長研修会、先進都市研修視察、全市区長研修会	
(5)広報活動費	208,000	195,000	13,000	区長会報印刷代	
(6)報償費	95,000	95,000	0	額縁、退会者記念品 他	
(7)慶弔費	44,000	30,000	14,000	花環代	
(8)部活動費	140,000	135,000	5,000	部活動費	
(9)交際費	217,000	217,000	0	会長交際費、新年市民交歓会費	
(10)旅費	290,000	523,000	△ 233,000	各種会議出席旅費(全国自治会連合会全国大会出席 他)	
(11)保険料	1,200,000	1,130,000	70,000	傷害保険料、賠償責任保険料	
(12)地区会長事務連絡費	511,000	513,000	△ 2,000	18地区区長事務連絡費	
(13)地区区長会交付金	2,372,000	2,388,000	△ 16,000	18地区区長会交付金	
(14)70周年事業準備金	150,000	0	150,000		
(15)雑費	393	741	△ 348		
2. 事務費	830,000	808,000	22,000		
(1)消耗品費	150,000	68,000	82,000	事務用消耗品	
(2)通信費	257,000	277,000	△ 20,000	文書発送郵便代 他	
(3)印刷費	100,000	100,000	0	封筒印刷代	
(4)手数料	230,000	273,000	△ 43,000	会報配布委託手数料、振込手数料 他	
(5)負担金	93,000	90,000	3,000	福島県自治会連合会費 他	
支出合計	15,081,393	10,984,741	4,096,652		

表彰

区長として市政発展に寄与するとともに、本会発展のために尽力された次の方々が令和6年4月に表彰されました。

市長表彰

○10期以上在職された方

行人町三丁目 大須賀錦一
花畑東 渡部登三男

上四之町 大竹 英典

北小路五丁目 小田切忠仁

赤井町 安藤 榮洸

○10年以上在職され、市区

長会役員を1期以上務め
その職を退任された方

山鹿町 森 宏道

住吉町 石田 実

○市区長会役員を3期以上務め
その職を退任された方

住吉町 石田 実

○3期以上在職された方

屋敷町 松本 幸仁

千石町二之区 松本 健男

博労町一丁目 神山 喜郎

平安町 佐藤 主善

馬場名子屋町 岡部 良秀

上六日町 丸山 高男

大手門通り 木村 英明

百合が丘 大川原史郎

新横町鳥橋区 二瓶 浩一

区長会感謝状

○10年以上在職し退任され

た方

蚕養町二丁目 齋藤 弘

寺町 河井 英昭

中六日町一丁目

槻木町 木本 保

甲賀町三丁目 山下誠一郎

小田町 加藤 恒雄

栄町二丁目 唐橋 廣吉

山鹿町 森 宏道

表町二区 星野 明彦

表町三区 榎田 栄生

紺屋町 田中 靖男

諏訪四ツ谷 大森 保司

融通寺町 笹内 紘司

住吉町 石田 実

飯寺九区 鈴木 英世

旧年貢町 青山 孝男

滝沢 荒井 利晴

扇町東一区 中島 秀隆

今和泉 山野 皓正

○4年以上在職し退任され

た方

城前二之区 土屋 稔

百合が丘 大川原史郎

花見ヶ丘 谷津 剛

栄町上三丁目 大須賀 隆

馬場上三之町 松本 眞一

馬場二之区 高橋 眞一

大町三丁目 石丸 勝也

錦町二区 田中 貴雄

大町四丁目 田中耕太郎

道場小路町 後藤 文明

幕内南町 渡部 幸一

如来堂 管 利明

院内 石原 敏

一ノ渡戸 菅山 由一

金堀 小林 清治

上蚕養三区 佐藤 陽子

上蚕養五区 小柳津涼子

大豆田 鹿目 栄

芦ノ牧 芳賀 修二

舟子 渡部三千雄

高坂 佐藤さとみ

田代 齋藤 利雄

堰場 齋藤 茂

笹山 吉崎 浩一

はたるの森 小笠原 浩

寺堀 大竹 浄

古麻生 大竹 和昭

大島 大竹 清隆

北後庵 荒井 幸

福島県自治会
連合会表彰

福島県自治会連合会定期総会での表彰

全国自治会
連合会表彰

および

地縁による団体功労者
総務大臣表彰



全国自治会連合会表彰者および地縁による団体功労者総務大臣表彰者（市長室にて）

住民自治組織の発展向上に尽力された長年の功績に対し、令和6年8月5日に開催された福島県自治会連合会定期総会において、次の方々が表彰されました。

花畑東 渡部登三男
城南・米代二丁目

北小路五丁目 小田切忠仁
高橋庸一郎

住民自治組織の発展向上に尽力された長年の功績に対し、令和6年11月13日全国自治会連合会より、次の方々が表彰されました。

栄町下四丁目二之区

真宮新町北 宗像 津良
佐藤 芳賢

町内会等の地縁による団体の代表者として、長年にわたり良好な地域社会の維持・形成に尽力された功績に対し、令和6年11月27日に総務大臣より、次の方が表彰されました。

栄町下三丁目 伊藤 洋

部会紹介

総務部会の活動について



総務部長 弓田 秀一
(高野地区区長会 会長)

●市長との対話集会

令和6年10月24日、市長との対話集会が、ルネッサンス中の島において開催されました。

各地区からの区長の出席は、48名。市当局からは、市長のほか要望事項に対応する、部長、副部長、課長の4名、来賓として市議会からは、議長、総務、文教厚生、産業経済、建設の各委員長4名のご出席をいただきました。

4件の継続要望事項。3件の新規要望事項に対して、市当局からの回答の後、活発な質疑応答が行われ、充分検討に値する有益な意見もあったように感じました。

なお、令和6年度各地区の要望事項は次のとおりです。

①神指地区 神指城址の史跡指



市長との対話集会

定推進と周辺環境整備について②高野地区 鶴沼南入口交差点の車両半感応式信号機への変更について③堂島地区 火の見櫓撤去後の防災対策について④鶴城地区 湯川の土砂・樹木の除去について⑤堂島地区 日橋川堂島橋上流部の堤防未整地区間の早急な整備要望について⑥北会津地区 北会津東部幹線道路(市道幹I-28号線)の早期整備推進について⑦東山地区 Free Wi-Fi 環境整備促進について

対話集会の中で印象に残った市長の言葉がありました。防災対策の中で災害対応はまず自助でというものです。共助、ましてや公助には、少なからず時間がかかるというものでした。

●会報の発行

今年度持ち回り当番の9地区より原稿の提出をいただきました。各

町内会の活動の様子が伺い知れます。無事、区長会の会報89号が発行できましたことに感謝申し上げます。

教養部会の活動について



教養部長 丸茂 直樹
(鶴城地区区長会 会長)

●新任区長研修会

6月15日に市文化センターにおいて、「町内会活動ガイドブック」をもとに、①危機管理課より各種補助金と、災害用土のう配備について②廃棄物対策課より各種補助金について③環境生活課より各種補助金と会津若松市環境大賞について④区長の役割についての説明

●先進都市研修視察

コロナ禍のため令和2年度より中止になっていた研修視察が、7月15日・16日と5年ぶりに37名が参加されて行われました。2011・3・11東日本大震災からの復興の歩みを、宮城県の荒浜小学校見学、白石市役所訪問を通して感じ、参加された方々の親睦を深めた研修視察でした。



先進都市研修視察

●全市区長会研修会

161町内区長が参加されて、ワシントンホテルにおいて11月15日開催されました。

「研修」

①廃棄物対策課より、ごみ緊急宣言についての説明と現状について②高齢福祉課より、つながりポイントについての説明③企画調整課庁舎整備室より、市役所新庁舎への引越等について

「市長講話」

室井市長より「会津若松市の現状と未来」について

なお、新任区長研修会の対象区長は184名、参加者は87名で、出席率は、47.3%、また、5年ぶりの研修視察も37名の参加者でした。このことを受けて先日全区長を対象に、今後の会津若松市区長会・町内会加入促進の在り方についてアンケートを実施して、より多くの参加者が集えるように検討しております。

厚生部会の活動について



厚生部長 佐藤 晃一
(城西地区区長会 副会長)

厚生部会が行う事業として、環境美化事業への協力(クリーン鶴ヶ城作戦への参加協力、地区清掃事業の推進)を毎年実施しております。また昨年の10月12日には第32回環境フェスタが「みんなで取り組もう×環境アクション」というスローガンのもと、鶴ヶ城体育館において開催されました。環境フェスタは、市民の皆様へ環境保全への関心を高めていただくことを目的に毎年開催され、本会では、厚生部会が中心となり毎年チャリティーバザーを出展して参りました。



収益金の寄付を行いました

何か月も前から準備していただいた各地区区長会の皆様、前日の準備や当日の販売員としてご尽力くださった厚生部委員の方々、さらに貴重な品物を提供していただいた皆様のおかげで、約16万7千円の収益を得る事ができました。皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。

この収益金は、福祉向上のため会津若松市社会福祉協議会に全額寄付いたしました。

産業部会の活動について



産業部長 上林 久雄
(日橋地区区長会 会長)

●会津まつり「会津藩公行列」について(表紙写真)

9月22日に会津の秋の風物詩「会津まつり」のメイン行事となる会津藩公行列が、雨が激しく降りしきる中、鶴ヶ城を出陣し市街地を巡りました。大河ドラマ「八重の桜」の主人

このほか、厚生部会として次の事業を行っております。各地区・各町内会における活動として①間口清掃の実施②ごみ分別回収への協力③環境保全への協力④健康推進への協力⑤社会福祉事業への協力これらの事業により、当部会は地域の生活環境向上等に協力してまいりますので、皆様のさらなるご支援をお願いいたしまして活動報告とさせていただきます。

公、山本八重を演じた綾瀬はるかさんが特別ゲストとして花を添え、沿道の市民らに笑顔で手を振っていました。はるかさんの参加は9回目。戦闘衣装に身を包み、出陣式では傘を手には、詰めかけたみなさんに「雨が降っているけれど、さすけねえか、風邪を引かないように、目いっぱい楽しんで、最高の一日にしましょう。」と会津弁を交えて呼びかけました。今年も8キロほど市街を巡りました。行列は、総勢約600人ほど参加のもと、区長会は玄武隊として12名が参加し威風堂々の行進の中で、4回ほど氣勢をあげながら進み、私も留守備家老内藤介石衛門に扮しました。また、本市観光大使の大林素子さんに、博労町通りと本町通りで紹



産業部会視察研修会

介いただき感動いたしました。さらには友人、親戚、市民の方からの応援や、写真を撮っていただき疲れも吹っ飛びました。午後からは、雨も止み藩公行列の意義を感じました。

●産業部会研修会について
産業部会では、地場産業等に対する理解を深めるため、研修会を毎年開催しています。今年は、18名参加のもと、出前講座「地球温暖化にやさしい暮らし」と題して、市環境生活課の方より映像も交えて、説明いただきました。まず、地球温暖化、気候変動の状況について知り、私たちは何ができるか考え、一人ひとり付箋に書き、ホワイトボードに貼り付けました。質疑応答もありました。その後、柳津町西山地熱発電所へ移動し、PR館で西山地熱発電所の仕組みについて説明を受け、発電所内では、計画を立て、行事を全て実施することができました。皆様に御礼申し上げます。ここに報告いたします。

各地区の活動紹介

花園町町内会



行仁地区花園町町内会

区 長 鈴木 盛久

私達の花園町内会は、若松駅に近く、近隣には消防署、若松第一中学校、蚕養神社などが有ります。商店や飲食店、病院などの民間施設も立地してゐるなど良好な住宅環境で、自然環境に恵まれた地域です。ここ数年の間に空地に家が建ち若い家族が多く入居し、子供の声が聞こえてきます。反面、高齢化が進み空家も増えています。現在121世帯、11班。10名の役員で活動しています。

主な活動としては、月1回の資源回収(業者に買取依頼、代金は町内費として活用)。春になると市より借り受けた花壇の管理、夏には神社祭典に神輿や出店をし、他に空地や空家の草刈りも行いま

す。冬には、高齢者世帯の雪片しを行つています。

町内の課題は、高齢世帯の増加に伴い、自然災害からの避難対策が必要と感じています。

また、町内には、コミュニティ活動の場が無く、家に閉じこもる高齢者が見られます。その対策として、自宅を開放し、サロンとして「いきいき百歳体操」を行い、その後には茶話会や誕生日会と称しての食事会をして、一週間の体調や楽しかった事、困った事などを話し合うことでフレイル予防を心がけています。花園町は、若い人と高齢者の共存共与、高齢者に優しい住みやすい町内を目指して行きたいと思っています。



神社祭典での出店

町内会の現状と今後の活動について



謹教地区西栄町三丁目町内会

区 長 高畑健一郎

「安全・安心を担保すべく、『向こう三軒両隣』の絆、関係性を大切にしつつ、住みよい地区を皆さんと一緒に築いていきましよう!」。これは、私が町内会長として役職を仰せつかった際に掲げたスローガンである。

一斉清掃やアメシロ防除作業、祭礼に伴う旗の揚げ降ろし作業などの事業を行っているが、ここ数年は高齢化に伴い、計画的・組織的に行うことが困難な状況にある。中間報告会(役員・組長情報交換会)では、①防犯カメラ・防犯灯の設置、②空き家対策、③組の再編成、④不審者への対応、⑤アパート等会費の徴収、⑥冠婚葬祭への対応、⑦世帯票の管理・活用、⑧役員等手当、⑨ごみ収集などを協議した。直ちに実行・対処できるもの、手続きを必要とするものにつ



謹教ふれあいネットワーク

いて、様々な情報を共有できたことは有意義であった。

一方、老人クラブや子ども会など、町内会主催等のイベントや祭りなどは既に消滅し、何も実施できていない現況にある。そこで、町内会の活性化及び町内相互のコミュニティを盛り上げ、元気付けるためのアイディア・方法はないかと考え、解決策の一つとして「他町内会との交流」を思い付いた。

隣接する区長に協力・理解を求め、山鹿町内で継続し成果を上げている「やまがみらいこども園」の園児たちによる「高齢者一人暮らし訪問」「若草会の皆さんによる『健康教室』」「第2地域包括支援センター」「謹教ふれあいネットワーク」などへの参画を呼び掛け、町内会を越えて一緒に仲間づくり・地域づくりを目指したいと考える。

新たな組織を立ち上げるのではなく、身近にある生き生きと楽しく活動している居場所に視点を当てるとともに、役員同士の縦・横の連携をより太くし、町内会だよりや必要な情報等、回覧板の効果的な活用により、情報を提供し、「住みよい地区を築く」一歩を出来ることから町内会の皆さんと一緒に進めたい。

五月町町内会の紹介と活動



日新地区五月町町内会

区 長 越尾 咲男

五月町は七日町駅から南西へ約1キロ弱の所に位置し、北には坂下街道が通っています。町は昭和30年代の後半に16世帯から始まり、現在では270世帯の大所帯となりました。

五月町は環境美化の一環として、町内清掃を年3回実施しています。清掃のない月には、約400メートルある湯川の河川敷の草刈りを

役員と有志で行っています。

大きな行事として、芋煮会、忘年会、歳の神を実施しています。芋煮会は毎年10月に町内会館で行っています。一昨年はコロナ禍の影響から4年ぶりに復活しました。敬老会も一緒に行い、敬老金を贈呈しています。昨年は来場者が増えて、会場は満席になり座れない時もありました。

新年会も一昨年より復活し、多くの町民の方が参加し新年をお祝い致しました。会の後半にはカラオケ大会で、皆さん美声を発揮して大変盛り上がり、時間を忘れて楽しんでいただきました。

歳の神はコロナ禍でも継続して実施しています。最近では諸般の事情で歳の神を開催できない町内会が増えていますが、五月町には幸い広い公園があり恵まれてます。この2・3年は隣の八日町、七日町十丁目の町民の方も参加されますので、両町内会とも連絡を取りながら、伝統ある歳の神を継続していきたいと思っています。

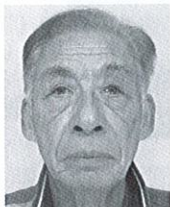
町内には成年会があり各種活動に携わっていましたが、ここ数年は休止していました。しかし、一昨年から復活の気運が高まり、会員も募集し活動を再開することになりました。皆さん「やる気」のある

方ばかりで、町内の活性化に貢献してくれるものと期待しています。五月町はまだ若い町ですが、時代の流れで高齢化も進んでいきます。これからは防災対策も念頭に置きながら、隣近所が協力し助け合い、町民が安心して生活できる町づくりを進めていきたいと思っています。



湯川河川敷の草刈り

中ノ明町内会の活動について



町北地区中ノ明町内会

区 長 小野 啓一

中ノ明町内会は会津アピオや国道49号線の南側にある地域で、40

世帯からなる町内会です。三十三観音の札所でもあり、参拝に訪れる方も多くみられます。

町内には100歳を超える長寿の方も居られ、60歳以上が7割を超え、典型的な少子高齢化地区になつております。

そこで、昨年7月7日に中ノ明地域防災協議会を設立して、地区の安全安心に取り組むことになりました。「地域やすらぎだより」を発行し、全世帯に配布したり、市防災訓練に合わせ、8月25日には、第六中学校まで避難移動訓練を住民15名参加で実施いたしました。

地震、水害、火災の災害に意識づけを心がけています。高齢者の住民宅への声掛けや地区内のあいさつ運動も心がけ、推進しております。



中ノ明地域防災協議会設立総会

今後も東日本大震災や能登地震を踏まえ、住民の防災意識向上、子供と高齢者を守るため、見守りの目を増やして地区の皆さんと共に安心安全を目指して協力していきたいと思っております。

神指地区 区長会の取り組み



神指地区東神指町内会
区 長 大堀 宏重

市の北西部にある神指地区は、現在15の町内会があり、住宅地、商工業や農村地区など様々な要素が同居している地区です。地区区長会の役目は、この地域の安心安全、行政や地域同士の連携、地域づくりの推進と考えています。

毎月、定例会を持ち、難題もありますが「楽しくやりましょう」と声を掛け合いながら、一丸となって取組を進めています。

今年も、環境美化活動や小学校と連携した環境標語づくりに取り組みました。また、史跡探訪神指

健康ウォークを復活させ、子どもを含め50名近くの参加者で開催することができたのは大きな成果でした。4年ぶりの再始動です。

さらに、神指地区文化祭を、各種団体の協力のもと開催する事ができました。様々な発表等を通じ、交流親睦が深まり、キッチンカーも登場し楽しい一日になりました。一方、再開を念頭に企画した球技大会は、別行事との重なりや参加者の伸び悩みから中止せざるを得なかったことは、今後の課題となることでした。

東神指町内会では、一昨年から秋祭りを再開しました。地区住民の惜しみない協力、有志(美魔女?)によるフラダンスなど多くのつながりに支えられ最高の一日になりました。

ここ数年中止した行事は、地域の高齢化や少子化、担当者の交代などで、地域内の人とのつながりをも薄くしてしまったのかもしれない。先日開催された防災出前講座に参加した方の感想に

「やっぱ、コミュニケーションが大事だよな。」

という言葉がありました。人をつなぐ、つなぎ合う、つながり合うことが、今後の活動の基盤だと聞こえてきました。

地区の諸行事をただ行うだけでなく、進める過程で様々な人がつながり、談笑が生まれます。役目は「人のつながりづくりだよ。」と、区長をやりながらあらためて実感しているところです。



フラダンス



子ども達も参加した
史跡探訪神指健康ウォーク

東山地区区長会等と連携 する町内会活動について



東山地区慶山二丁目町内会
区 長 芳賀 清光

わが町内会は、東公民館と東山小学校をぐるっと囲んだ130世帯で構成する町内会です。当会の東方には東山温泉、松平家の御廟、

天寧寺にある近藤勇と土方歳三の墓と愛宕神社、大河ドラマ「八重の桜」の主人公山本八重の先祖が眠る大龍寺、白虎隊が自刃した飯盛山が「新奥の細道」でつながっており、歴史とウォーキングには最適な環境です。東山地区区長会、区長懇話会をはじめ19各種団体が一堂に会する1月の新年交歓会は、150名の参加で30年続いた一大行事でしたが、コロナ禍で中止を余儀なくされてしまいました。念願が叶い令和7年から再開することができました。町内会では、東山小学校の通学路の環境美化のため学校周辺の市道の草むしり、健康と人との交流づくりを目的に40人以上の参加で公園の草むしり植栽、作業前にはラジオ体操を行っています。市民憲章花園コンクールには21年間連続参加し、最優秀賞12回、モデル花壇賞など毎年受賞しています。さらに、東日本大震災、能登半島大地震等、町内の人的被害を最小限に止めるため、定期総会で「町内会自主防災組織」設立を目指し、意見等を求めています。1月には、歳ノ神が21回目を迎え寒さを吹っ飛ばす芋汁100食ほどが飛ぶようになくなります。

最近子供達が10名程多くなったので文化祭、敬老会、運動会と各

大戸町は7つの地区(14の町内会)で構成されています。上三寄地区は3つの町内会(南原・香塩・大豆田)で構成し大戸町中部のエリアで国道118号線と広域農道が地区を縦貫しており、映画で有名な猫駅長のいる会津鉄道芦ノ牧温泉駅があります。地区の西側を



大戸地区大豆田町内会
区 長 齋藤 浩二

上三寄地区の現状と今後について

団体と連携し町内の元気を更に出していきたいものです。



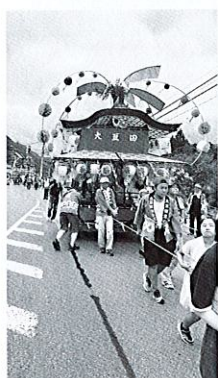
植栽した公園の花壇

阿賀川が流れ、東側は山地になっております。区画整理された農地が広がり、地区には大戸公民館、大戸小学校、大戸中学校、駐在所、郵便局、ガソリンスタンド、飲食店、商店があり大戸町の中心的役割を担っています。

人口はここ10年で3割減となり、高齢化率も50%を越え少子高齢化が一段と顕著となっております。

こうした状況の中でも、令和元年を最後にコロナ禍で中止になっていた『上三寄祭礼』が5年ぶりに復活したことは明るい話題であります。山車の引き手確保に苦労はしたもの、警察署・交通安全協会・町内の皆様のご協力を頂き無事終えられたことが、今後の祭礼継続に繋がるものと考えます。

また大戸町では、令和2年に『大戸まちづくり協議会』が発足し、地区区長や各種団体等と連携し地域住民の福祉の増進、産業の振興、生活文化の振興等に寄与し協働による地域づくりを進めているところです。



上三寄祭礼

今後も人口減少は更に進んでいくものと予測されますが、地域内での雇用創出、就農しやすい環境作り、空家対策などに取り組んで参りたいと思います。

真宮新町の夏祭りの復活と「Mirai」の発足



北会津地区真宮新町南四丁目町内会
区 長 中島 慎一

令和5年、真宮新町では3年ぶりに夏祭りが開催されましたが、限られた有志だけで活動を継続することの難しさが課題として浮かび上がりました。この状況を打開するため、地域の活性化を目的とした新たな団体「Mirai」が令和5年12月に発足しました。「真宮新町をもっと盛り上げたい！」というスローガンのもと、12名の有志が集まり、活動をスタートさせました。令和6年9月7日に開催された夏祭りは、「Mirai」にとって最初の活動の場となりました。関連団体と協力し、役割を分担しながら、

一日をかけて多くの来場者に楽しんでいただけるイベントを無事に終えることができました。長い一日でしたが、達成感をメンバー全員で共有できたと感じています。

「Mirai」は、夏祭りの復活にとどまらず、伝統行事である歳の神の継承にも取り組んでいます。また、町内での交流を深めるための新しいイベントの企画も進行中です。真宮コミュニティセンターを拠点に、これらの活動を通じて地域のコミュニティ再生を目指しています。

近年の少子高齢化や人口減少により、多くの地域で伝統文化が失われつつあります。真宮新町も例外ではなく、祭りの中断などにより、地域の活力が減退してしまっています。しかし、「Mirai」の活動は、こうした状況に新たな風を吹き込み、地域の再生に貢献する可能性を秘めています。私たちは、真宮新町に新しい未来を築きたいと考えています。「Mirai」という名前には、そんな願いが込められています。



復活した夏祭り

河東町漆沢町内会

八田地区漆沢町内会
区 長 鈴木 庄一

漆沢地区は、河東の東部に位置し国道49号線と高速道路が交差する集落です。私が物心つくまでは、車など見たことも乗ったこともない時代でした。

若松へ行くのは、八田野まで歩いてバスに乗るか、広田まで歩いて汽車に乗らないといけなかったのです。冬には除雪車も来ないので、雪が積もると親が朝からカンジキをはいて道付けをしてくれました。そのころは河東村でした。

国道49号線ができて村は変わりました。山が田んぼになり、周りが拓けて見えました。その頃から水道が通り、電話も入りました。国道ができたおかげで若松へ通えるようになり村の人口が増えたようです。ただ今のように熊などに出会ったことなどありませんでした。

さて本題に戻りますが、私が生ま

れた頃は河東村でした。その後、社会人になった頃に河東町になり、今は会津若松市になりました。村だろが市だろが、私には一緒です。今、区長をやらせてもらっています。が、たかだか、32軒の区長です。時代が変わり、この地区も高齢化が進みデイサービスの車が行きかい、子供の頃のように車も見ることがないなんて言ってもらえません。

ただ、軒数が少ないとはいえ、市からの連絡文書が郵送で来ます。区長として必ず目を通して報告書や申請書は必ず提出する責任は、軒数にかかわらずあると思ってやっています。村の行事も私が区長になってから役員と相談してひとつ減らしました。ですが昔からの神事だけは受け継いでいきたいと思っています。あとは、毎日ポストを見ながら市から集落の橋渡しとして任期まで区長の仕事をします。

役員紹介

本会の会長・副会長・会計・監事をご紹介いたします。

(任期：令和8年4月の定時総会まで)

○ 会 長 成田源一郎 (北会津)

○ 副会長 渡部 美次 (東 山)

○ 〃 宮城 卓二 (一 箕)

編集後記

区長会会報第89号を、市民の皆様へお届けすることができ、大変感謝しております。各部会の紹介と、活動について、9地区の区長さんには、町内会の活動状況について寄稿を頂き、大変ありがとうございました。

令和6年は、1月1日に能登半島地震に始まり、残暑も大変長く続きました。年末には、インフルエンザ、コロナも流行し、大変な1年になりました。新たに区長に就任された皆さんには、この区長会会報を参考に、町内会の発展にご尽力いただければ幸いです。

総務部会では、会報の編集を行いました。当番となった地区の区長さんにおかれましては、寄稿いただきありがとうございます。今後とも区長会の発展に、ご協力をよろしくお願い致します。

(総務部副部長 室井榮之助)

令和6年度区長会会報
第89号編集者

会 長 成田源一郎 (北会津)
副 会 長 渡部 美次 (東 山)
総務部長 弓田 秀一 (高 野)
総務部副部長 室井榮之助 (謹 教)
総務部委員 大堀 宏重 (神 指)
渡部登三男 (行 仁)
内藤 陽一 (鶴 城)
青木 正明 (謹 教)
伊澤 勉 (城 北)
松本 稔 (日 新)
原田憲之助 (城 西)
土屋 廣江 (門 田)
大矢由紀江 (東 山)
芳賀 誠子 (一 箕)
二瓶 一廣 (大 戸)
中島 慎一 (北 会津)
鶴巢 広司 (日 橋)
鈴木 庄一 (八 田)
齋藤 幸也 (堂 島)



編集者写真

